

合志市立合志南小学校 学校便り



みなみの風

令和8年9月4日
第6号
文責 校長 松本

前期後半がスタートしました！

長い夏休みが終わりました。まだまだ残暑厳しい中で前期後半がスタートしましたが、正門や廊下で元気いっぱいのおいさつをしてくれる子どもたちです。

今年の夏休みは、特別な夏休みでした。7月28日、誰も予想していなかった「令和8年熊本地震」の発生。10年前の「熊本地震」は、小学生の皆さんは、まだ生まれていない人も多く、記憶に残っている小学生は、ほとんどいないと思います。しかし、今回の地震は、昼間であったこともあり、子どもたちの心にも大きな影響を与えたと思います。ひょっとするとこれからいろいろと影響が出てくることもあるかもしれません。だからこそ、前期後半が始まるにあたり、夏休み明け集会では以下のような話を子どもたちにしました。

みんなはどんな夏休みを過ごしましたか。夏休みに入る前、先生はみんなに「一番自分の行動を見ているのは、自分自身だよ」「自分が胸を張れる行動を続けてください」とお話ししました。覚えているでしょうか。この夏休み、自分で決めた勉強や習い事を最後まで頑張った人、家のお手伝いを毎日できた人、近所の人に元気よく挨拶ができた人など、みんな自分で考えて、すばらしい夏休みを過ごしたのだと思います。新しいことに挑戦した人もいたでしょう。その一つ一つの頑張りは、目には見えなくても、確実にみんなの「心のちから」を強く、たくましく育てています。

今年の夏休みは、私たちにとって忘れられない出来事もありました。「令和8年熊本地震」です。大きな揺れに驚いた人、テレビ等で家や地域の被害を見て怖かった人、今もまだ、不安な気持ちが残っている人がいるかもしれません。

でも、そんな大変な時だからこそ、4月の始業式でみんなと約束したスローガン、「気づき 考え 行動する えがおであいさつ ありがとう」を思い出してください。家族や地域の人、友だちの不安な様子に「気づき」、「自分にできることは何か」と「考え」、「大丈夫？」と声をかけたり、できることを手伝ったりして「行動する」。そして、助け合えたときに「ありがとう」と伝え合う。こうした一つ一つの行動が、不安な気持ちを和らげ、まわりの人を温かく支える大きな力になります。不安なときは、決して一人で抱え込まず、先生や周りの大人、友だちにいつでも気持ちを話してください。

さあ、今日から前期後半が始まります。「前期のまとめ」のとても大切な月です。夏休みの間にみんながためたパワーをたくさん使って勉強や学校での生活を頑張りましょう。夏休みにすくすく育ったみんなの「頑張りのたね」が、これから学校できれいな「花」を咲かせるのがとても楽しみです。

10月の前期終業式に向けて、一日一日を大切に、そして自分にも友だちにも思いやりを持って過ごしていきましょう。みんなの「気づき・考え・行動する」キラキラとした姿を楽しみにしています。

合わせて、集会では生徒指導担当よりこれからの生活で気をつけること、養護教諭より地震に関する心のケアについての話がありました。オンライン形式での集会でしたので、直接子どもたちの反応はわかりませんでしたが、各教室でしっかりと話を聞いてくれていたようでした。

PTA美化作業

8月30日(日)午前6時より、PTA有志によるPTA美化作業が行われました。当日は総勢50名を超えるPTA、子どもたち、本校職員が集まり、運動場の草取りと北側の斜面の整備を中心に作業していただきました。駐車場際のフェンス沿いやトラックにはしっかりと雑草が広がっていました。一本一本抜くのは大変でしたが、多くの人で一度に作業することで運動場がきれいになりました。また、北側斜面では、力仕事でしたので男性中心での作業となりました。斜面での作業はやりにくい部分もありましたが、一時間ほどの作業できれいになりました。



早朝より蒸し暑い中での作業でしたが、参加していただいた方々は、汗びっしょりになりながら作業していただきました。大変お世話になりました。